

## ミビョーマンと畜産をアピールしました～伊勢原市畜産まつり～

令和元年11月16日（土）に、伊勢原市田中で「第39回伊勢原市畜産まつり」が開催されました。

「伊勢原市畜産まつり」は、市民に対し、畜産に対する理解と関心を促進するとともに、畜産物の消費拡大を図ることを目的として、毎年秋に、伊勢原市畜産会が開催しています。

当日は、「いせはら地ミルク」や「市内産の野菜」など地元農畜産物の販売、市内酪農家の飼養する乳牛による「牛の乳搾り体験」や「子牛のブラッシング」、「牛の重さ当てクイズ」、また、市内養鶏農家で生産された卵で「たまごのつかみ取り」などのイベントが行われました。天候にも恵まれるとともに、身近に家畜に触れ合えるイベントとして、約8,000人の県民が来場し、イベントや模擬店では長い行列が出来ていました。

「いせはら地ミルク」は地元神奈川大学と連携して、購買者アンケートを実施しながら、200本を完売しました。

今年は、特別ゲストとして未病改善ヒーロー「ミビョーマン」が伊勢原市畜産まつりに来場しました。ミビョーマンは「ミビョーマンショー」で“未病改善”をアピールするほか、「畜産クイズ」や「バター作り」のイベントにも登場し、会場は大いに盛り上がりました。



「ミビョーマンショー」



「牛の乳搾り体験」

畜産技術センターでは、県民の畜産に対する理解を醸成し、また県内畜産物に関心を持ってもらえるよう、「畜産クイズ」の問題作成や「いせはら地ミルク」の購買者アンケートで支援を行いました。